

市は、今年度から二年間、国・県の補助事業の「障害者の住みよいまちづくり推進事業」に取り組んでいます。障害者が、健常者と同様に、安心して生活し、より一層の社会参加ができるまちを目指し、障害者に対する配慮を、市内の隅々まで行きわたるきめの細かい事業を行っています。

JR芦屋駅前再開発ビル
ラリーブ

11月21日(月)~11月26日(土)

受付時間 13時~17時

会場 太陽神戸銀行芦屋駅前支店2階会議室

11月23日(水)は、銀行が閉店になりますのでJR芦屋駅北側の市開発事業部2階(船戸町3-25、☎3781)で受け付けます。時間は、13時から17時までです。

戸数(住宅のみ) 29戸

間取り 1LDK~4LDK+N(納戸)まで16タイプ

面積 43.50平方メートル~102.46平方メートル

融資 銀行ローンがついています

抽選会 12月3日(土)14時から市民センター401室

モデルルーム 松ノ内町旧崇信幼稚園跡地内で11月26日までオープンしています。

(金) 決算委員会ならびに常任委員会

△12月13日(木) 9時

開会式

議事録

議案提出

議案審議

議案採決

閉会式

議事録

市立芦屋高等学校の指導の重点

市立芦屋高等学校では、次のような内容の充実に力を注いでいます。また、語学力と国際化時代にふさわしい教養を高めるために、英語の時間数を大幅に増やし、中国語会話も実施しています。

基礎学力の充実

教科書を中心に、各教科の基本を整理して、学力が一人ひとりに定着するよう、丁寧な学習をします。

基礎と発展が選択できる小人数の授業

英語・数学は好き嫌いの幅が大きいので、希望によって、基礎と発展に分かれて授業を行います。

授業は、一人ひとりの学力が最大限に伸びるよう工夫されています。

進路を考え、人生設計をたてる

カリキュラムは進路の必要に応じて、それぞれ選択できるようになっています。従って、一年生のときから進路指導を十分に行い、自分の進む方向を考えいく指導をします。

自ら選び、自ら進む方向を見いだす

早期に目標をたて、2年生、3年生へと意欲的に取り組めるようにします。

(「学校案内」から抜粋)

市芦高からモンテベロ市へ 2生徒の派遣決まる



勢野嘉子さん
米田祐子さん

62年度から始まった外国人講師の英会話の授業(講師はピーター先生)

国際親善、文化の交流を目指して、自治体レベルでの国際交流は時代のすう勢です。本市は、米国・モンテベロ市に続き、中国・肇慶市とも友好提携の準備を進めています。加えて、教育の場でも時代の要請と教育効果を期待して、市立芦屋高等学校から、二年生二人の女生徒を派遣することを諮り、さる九月の定例市議会で予算の決定をみました。同校では、国際化の一層の進展に対応するため、教育課程を大幅に改善し、外国人講師による英会話授業に力を注ぎ、中国語会話も実施しています。このたび、モンテベロ市へ市立芦屋高校から初めて派遣される二人に、応募の動機や抱負を語ってもらいました。

希望者七人のうちから学校での諸活動と作文、さらに英会話による面接の結果選ばれ、おめでとうございます。

十二月二十一日に出発、

ホーメステイをしながら、

当地の高校生と交流する

など親善を深め来年一月

七日に帰国の予定ですが、

まず、最初にこのたびの

派遣について応募の動機

から聞かせてください。

勢野

今度、市立芦屋高

等学校の生徒の海外派遣

があるというのことをや

つて絶対悔いを残さない

ようにしようと固い決意

をして応募しました。

米田

高校に入学した時、

担任の先生が英語の先生

だと知ったときはうれし

くて、「英語がうまくな

りたい」と作文に書いた

ことを覚えています。

「アメリカへ行きたい

」と頑張っていました。

英語は得意なほうでは

ありませんでした。しか

し、やってみようとい

うチャレンジ精神をもつて

私は英語の先生との出会いがよかったです。

熱心に取り組んできた

のに今はとても楽しく、

好きな科目のひとつにな

りました。

米田

私は英語の先生と

の出会いがよかったです。

熱心に取り組んできた

のに今はとても楽しく、

好きな科目のひとつにな

りました。

米田

私は英語の先生と

の出会いがよかったです。